

令和 6 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

令和 7 年（2025 年）2 月 5 日提出

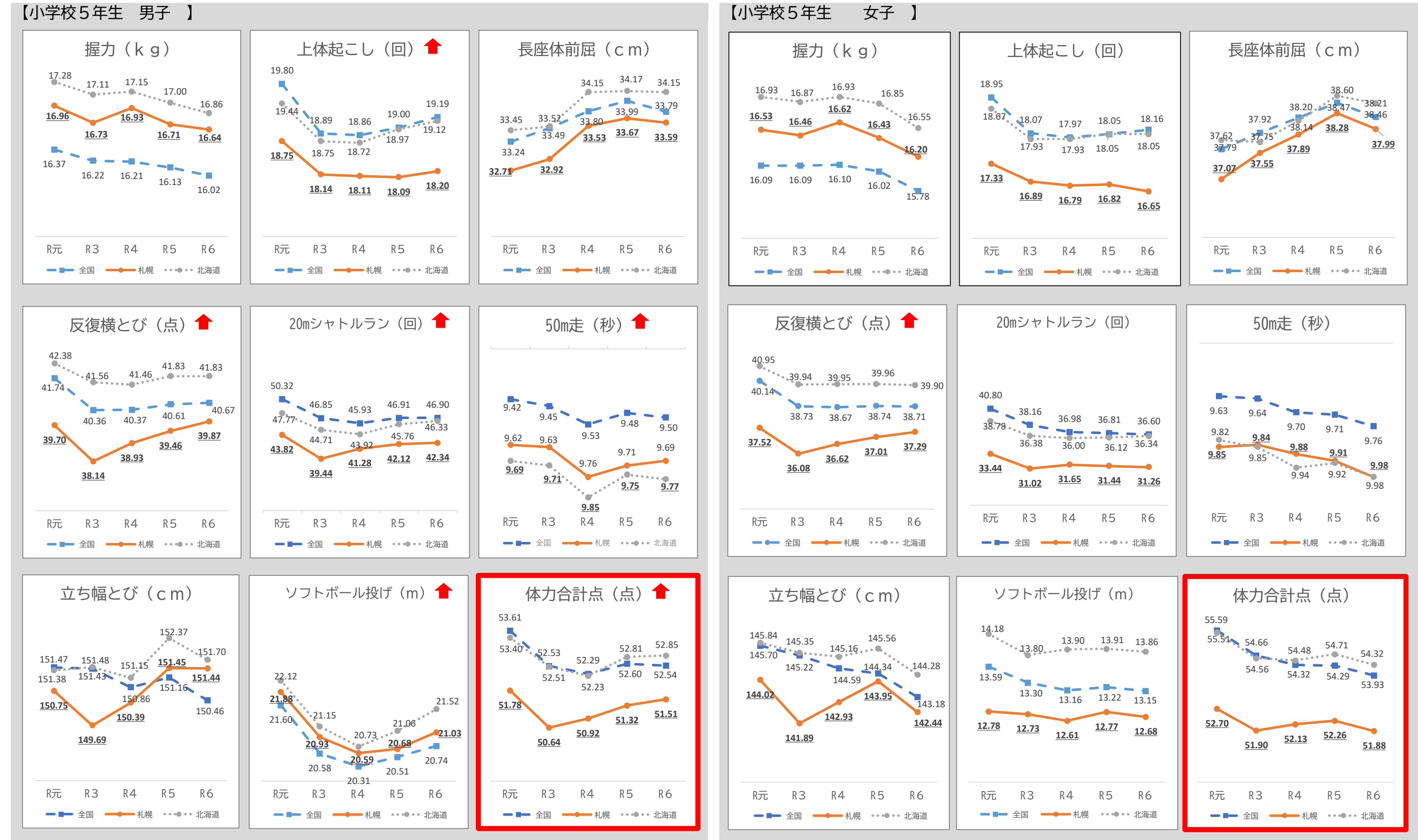
教育長 山 根 直 樹

令和 6 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要について、別紙
のとおり報告する。

「実技に関する調査」の経年変化（小学校）

資料1

○昨年度より、小学校男子は5種目、小学校女子は1種目で向上が見られる。
○体力合計点について、男子は3年連続して向上の傾向が見られた。一方、女子については、2年連続して向上の傾向が見られていたが、今年度は低下している。



反復横とび（点）

▲

年度	全国	札幌	北海道
R元	40.14	37.52	40.95
R3	38.73	36.08	39.94
R4	38.67	36.62	39.95
R5	38.74	37.01	39.96
R6	38.71	37.29	39.90

20mシャトルラン（回）

年度	全国	札幌	北海道
R元	40.80	33.44	38.78
R3	38.16	31.02	36.38
R4	36.98	31.65	36.00
R5	36.81	31.44	36.12
R6	36.60	31.26	36.34

50m走（秒）

年度	全国	札幌	北海道
R元	9.63	9.85	9.82
R3	9.64	9.84	9.85
R4	9.70	9.88	9.94
R5	9.71	9.91	9.92
R6	9.76	9.98	9.98

立ち幅とび（cm）

年度	全国	札幌	北海道
R元	151.38	150.75	151.47
R3	151.43	149.69	151.48
R4	151.15	150.39	151.15
R5	151.16	151.45	152.37
R6	150.46	151.44	151.70

ソフトボール投げ（m）

▲

年度	全国	札幌	北海道
R元	21.60	21.88	22.12
R3	20.58	20.93	21.15
R4	20.31	20.59	20.73
R5	20.51	20.68	21.06
R6	20.74	21.03	21.52

体力合計点（点）

▲

年度	全国	札幌	北海道
R元	53.40	51.78	53.61
R3	52.51	50.64	52.53
R4	52.23	50.92	52.29
R5	52.60	51.32	52.81
R6	52.54	51.51	52.85

立ち幅とび（cm）

年度	全国	札幌	北海道
R元	145.70	144.02	145.84
R3	145.22	141.89	145.35
R4	144.59	142.93	145.16
R5	144.34	143.95	145.56
R6	143.18	142.44	144.28

ソフトボール投げ（m）

年度	全国	札幌	北海道
R元	13.59	12.78	14.18
R3	13.30	12.73	13.80
R4	13.16	12.61	13.90
R5	13.22	12.77	13.91
R6	13.15	12.68	13.86

体力合計点（点）

年度	全国	札幌	北海道
R元	55.51	52.70	55.59
R3	54.56	51.90	54.66
R4	54.32	52.13	54.48
R5	54.29	52.26	54.71
R6	53.93	51.88	54.32

※北海道の値は、札幌市を除くもの

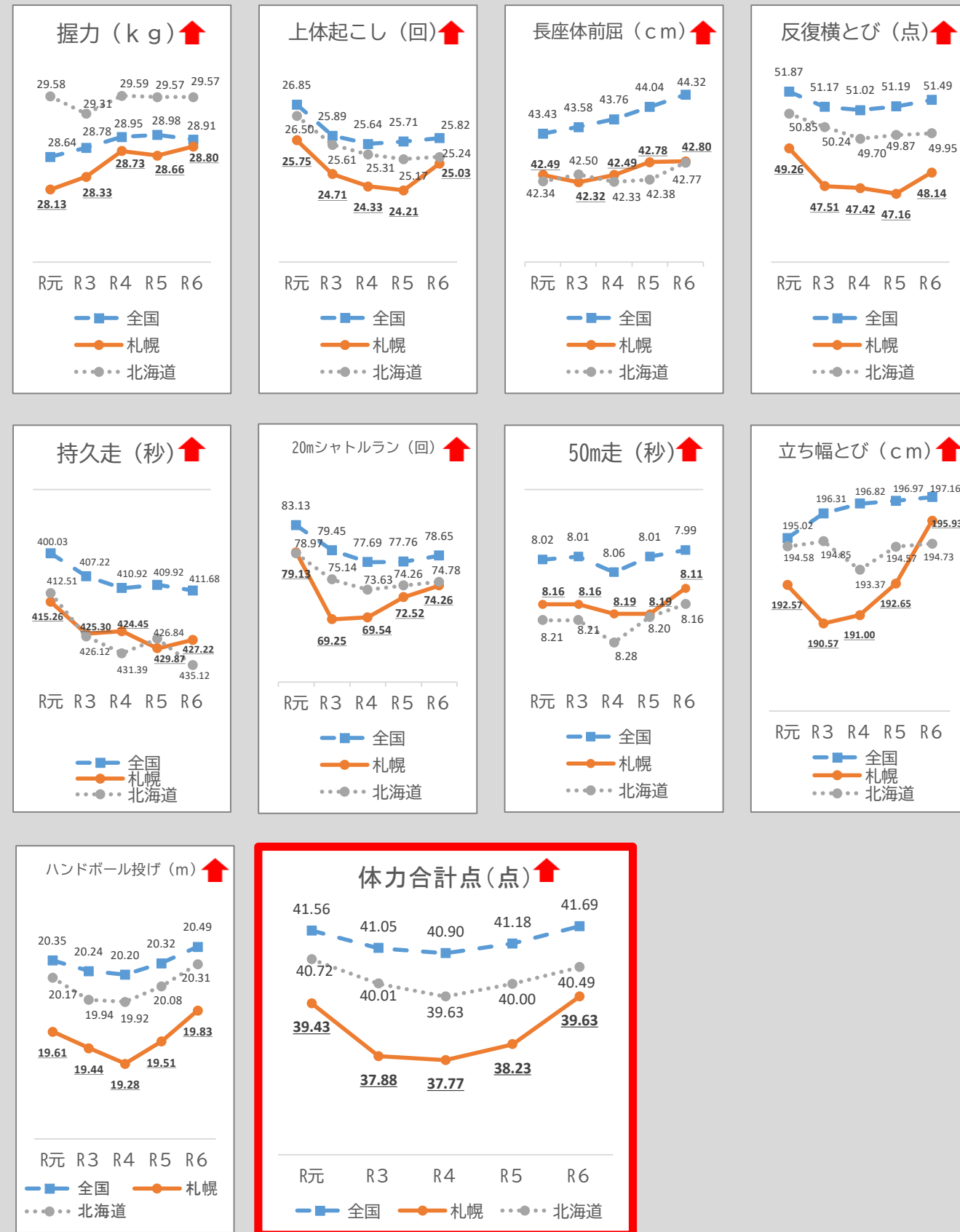
「実技に関する調査」の経年変化（中学校）

資料2

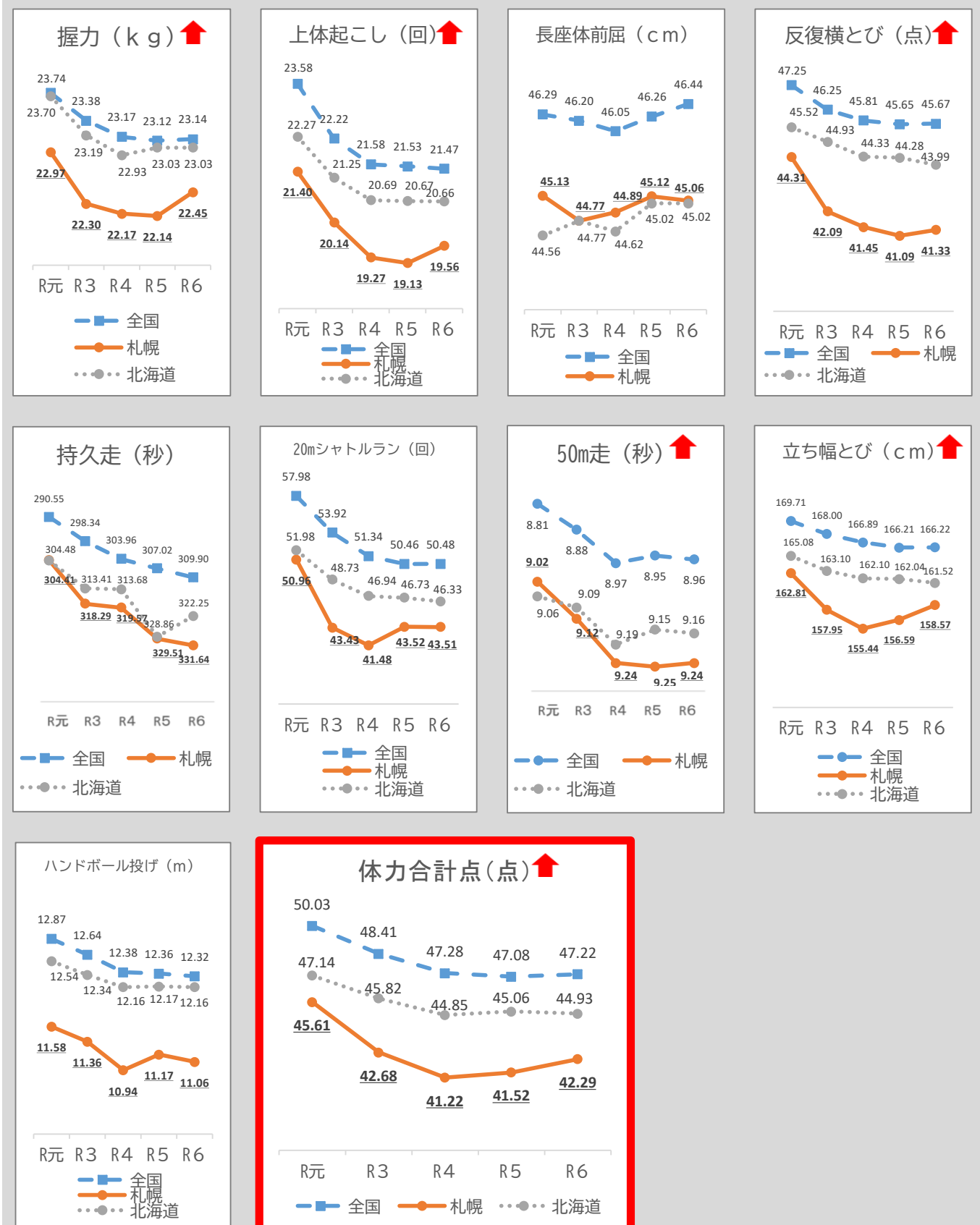
○ほとんどの種目で全国平均に届いていない状況であり、特に中学校の女子は全国平均との差が顕著である。

○体力合計点について、中学校男女ともに改善傾向が見られ、中学校男子については新型コロナウイルス感染症蔓延前の水準に戻っている。

【中学校2年生 男子】



【中学校2年生 女子】



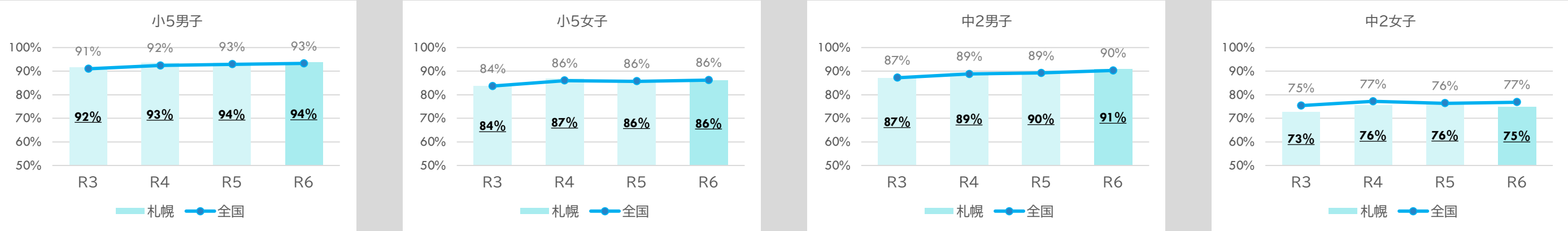
※北海道の値は、札幌市を除くもの

「児童生徒質問紙」結果の経年変化

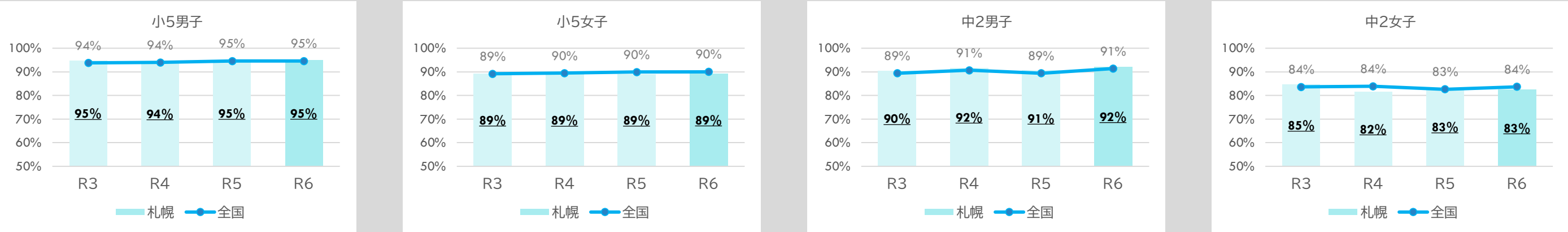
資料3

- 「運動やスポーツが好き」「体育の授業は楽しい」の問いに対して、肯定的に捉えている児童生徒の割合を高い比率で維持している。
- 「体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の児童・生徒の割合」について、中2女子においては25%と高い割合を示している。

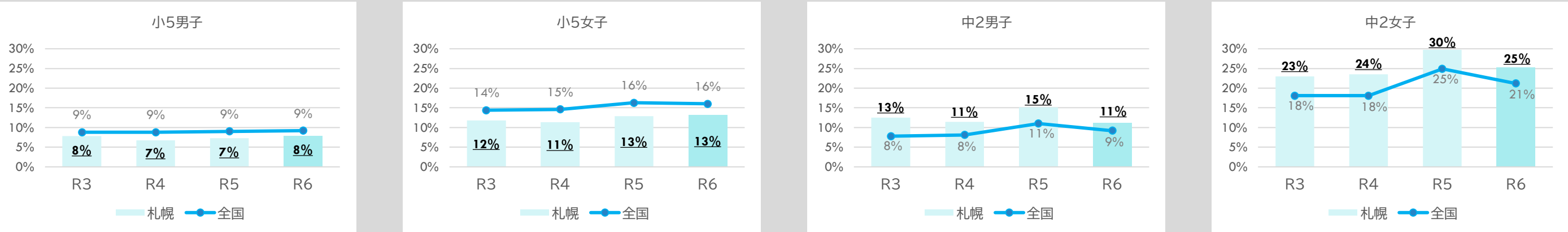
○「運動やスポーツをすることが好き」



○「体育・保健体育の授業は楽しい」



○体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の児童・生徒の割合

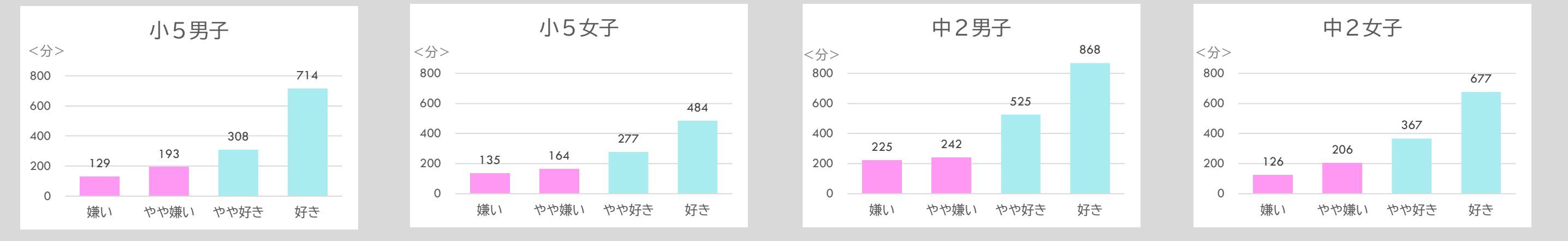


「運動が好き」と「運動が嫌い」の違いによる運動習慣等について

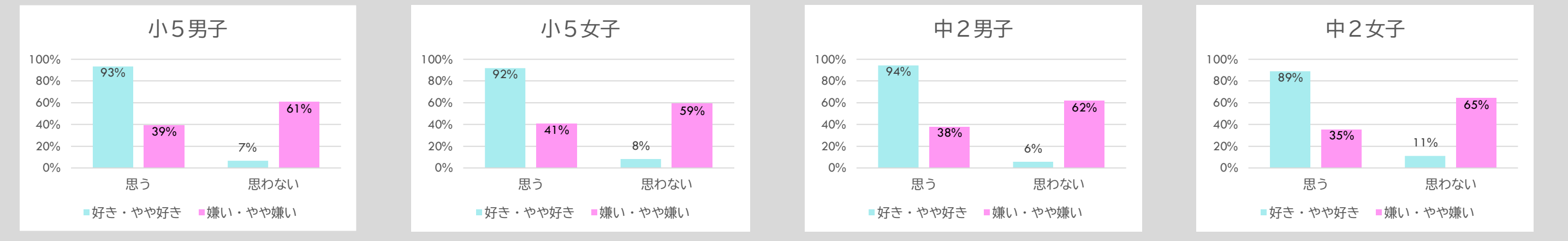
資料4

- 「運動やスポーツが好きである」という肯定的な思いが強いほど、総運動時間も長い傾向にある。
- 「運動が嫌い・やや嫌い」と答えた児童・生徒の割合について、男子はコロナ禍以前の水準に戻っているが、女子は微増傾向にある。

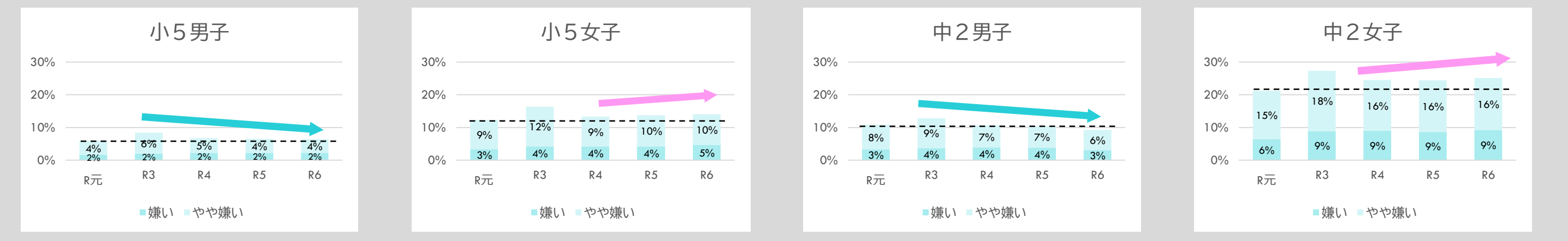
○「1週間の総運動時間」 × 「運動が好きですか」



○「卒業後も自主的に運動したい」 × 「運動が好き」の肯定・否定



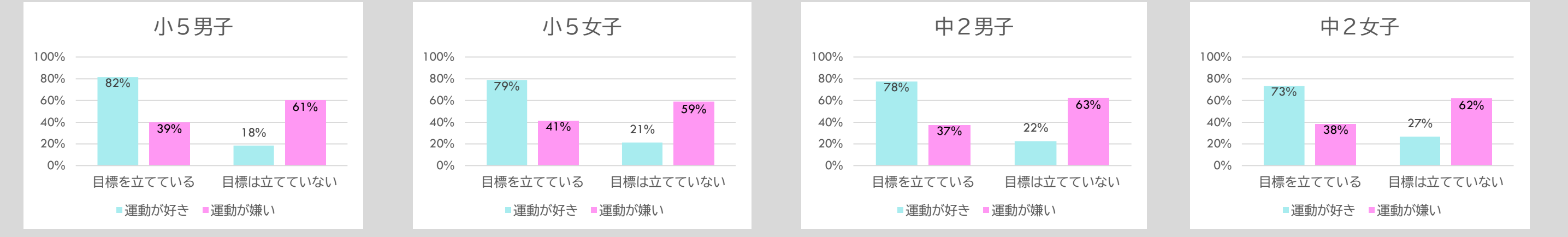
○「運動やスポーツが嫌いな児童・生徒の割合」の経年変化



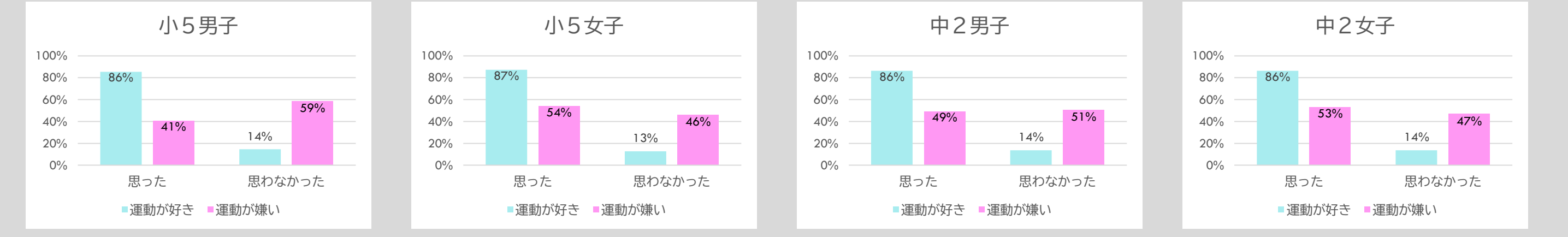
授業や授業以外の取組を改善するための参考指標

- 「運動やスポーツが好き」と回答した児童・生徒は、体力向上の目標を立てている割合が高い。
- 「体育・保健体育の授業が楽しいと感じるとき」について、教師の見立てよりも児童生徒の方が「友達との交流や協力したときに楽しさを感じている」と回答する割合が多い。

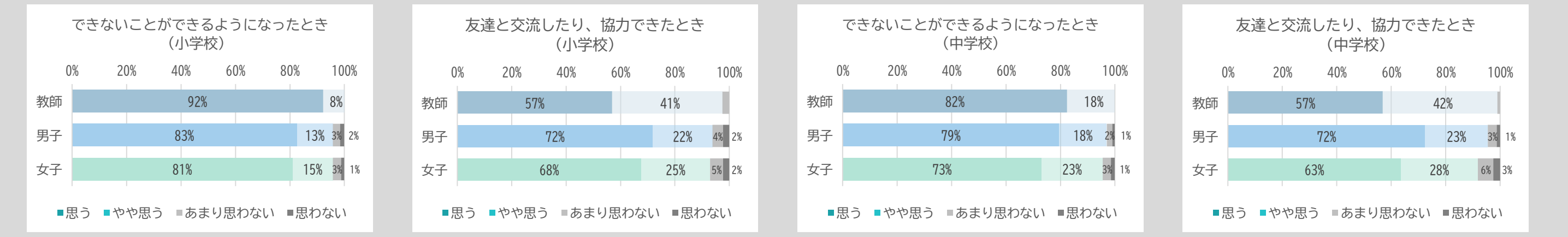
○体力向上の目標を立てている × 「運動が好き」の肯定・否定



○保健を学習して、もっと運動しようと思ったか × 「運動が好き」の肯定・否定



○「体育の授業が楽しいと感じるとき（と思われるとき）」における教師と児童生徒の認識について



令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

札幌市における今後の方向性について

【現状】

(1) 体力・運動能力、運動習慣について

- 体力合計点について、小学校男子は3年連続、中学校男子・女子は2年連続で向上している。
- 中学校男子については、全8種目で向上が見られるとともに、体力合計点については新型コロナウイルス感染症蔓延前の水準に戻っている。
- 実技結果について、小中学校男女ともに、ほとんどの種目で全国平均に届いていない状況であり、特に中学校の女子は全国平均との差が顕著である。
- 1週間の総運動時間について、小学校では多くの児童が授業外においても運動に親しんでいるものの、中学校では運動をしない生徒の割合が大幅に増加している。

(2) 児童生徒の意識及び運動能力等との関係について

- 「運動やスポーツが好き」「体育の授業は楽しい」の問いに対して、肯定的な回答を高い比率で維持できている。
- 「運動が嫌い・やや嫌い」と回答した児童生徒の割合は、男子においてコロナ前の水準と同様、もしくは下回っている。
- 一方で、女子においてはコロナ禍以前の状態には戻り切らず、横ばい、もしくは微増となっており、運動に否定的な層の中でも、特に女子に対するアプローチを考えていく必要がある。
- 「運動が嫌い」と思っている児童生徒は、「保健を学習して運動しよう」とする思いにつながっていない割合が高い。保健学習等を通じ、健康の保持増進の大切さを実感した時に、運動習慣へ関連付ける取組が必要である。

【今後の方向性】

- 誰もが運動の楽しさを感じられるよう「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実した「課題探究的な学習」を推進することにより、生涯にわたり運動やスポーツに親しむための資質・能力を育む。特に、「運動が嫌い・苦手」な児童生徒が、主体的に学習できるよう指導方法を工夫する。
- 児童生徒が運動や健康に係る課題を意識し、授業外や日常生活において自ら考え解決できるように取組を工夫する。その際、子どもの声を反映するなど、さっぼろっ子「自治的な活動」やコミュニティスクールとの関連付けを図る。
- 子どもが自ら健康の保持増進を図ることの重要性を実感し、運動習慣を身に付けることができるよう、保健の学習を通じて運動の大切さや必要性を理解したり、実際に体を動かして運動の効果を実感したりするなどの取組を進め、体育と保健を関連させた指導の充実を図る。

議案第 1 号

議会の議案についての市長への意見の申出について

令和 7 年（2025 年）2 月 5 日提出

教育長 山 根 直 樹

札幌市学校施設冷房設備整備事業事業契約締結の件（別添）について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 29 条の規定に基づき、下記意見書のとおり意見を述べる。

意 見 書

札幌市学校施設冷房設備整備事業事業契約締結の件は、市立学校 177 校の普通教室等への冷房設備を P F I 手法により整備する事業に関し、総合評価一般競争入札により選定された事業者と契約を締結するものであり、その内容は適当と考えます。

札幌市教育委員会

（理 由）

札幌市学校施設冷房設備整備事業事業契約締結の件について意見を述べるため、本案を提出する。

議案第 号

札幌市学校施設冷房設備整備事業事業契約締結の件

令和 7 年（ 2 0 2 5 年 ） 2 月 1 3 日提出

札幌市長 秋 元 克 広

民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成 1 1 年法律第 1 1 7 号）に基づき、下記により事業契約を締結するものとする。

記

- 1 事業名 札幌市学校施設冷房設備整備事業
- 2 事業場所 札幌市中央区大通東 6 丁目 1 2 番地 1 ほか
- 3 事業内容 (1) 学校施設の冷房設備の設計、施工等
(2) 学校施設の冷房設備の整備後の所有権移転
- 4 契約金額 1 3 , 5 4 9 , 7 3 2 , 2 6 5 円に金利変動、物価変動及び税制度の変更による増減額を加算した額
- 5 契約の相手方 札幌市豊平区月寒東 2 条 1 6 丁目 1 番 6 号
札幌学校冷房整備株式会社
代表取締役 小林 孝裕
- 6 契約期間 契約締結日から令和 1 0 年 3 月 3 1 日まで

（理 由）

札幌市学校施設冷房設備整備事業に係る事業契約を締結するため、本案を提出する。

1 契約の概要

事業名称	札幌市学校施設冷房設備整備事業
事業場所	札幌市中央区大通東 6 丁目 12 番地 1 他
事業方式	P F I (B T) 方式 (Build : 施設整備、Transfer : 譲渡)
事業内容	(1) 設備の設計、施工及び工事監理 (2) 整備後の所有権移転
契約金額	13,549,732,265 円に金利変動、物価変動及び税制度の変更による増減額を加算した額
契約の相手方	札幌市豊平区月寒東 2 条 16 丁目 1 - 6 札幌学校冷房整備株式会社 代表取締役 小林 孝裕
契約期間	契約締結日から令和 10 年 3 月 31 日まで

2 事業者選定方法等

事業者選定 までの経過	令和 6 年 10 月 4 日	入札の公告及び入札説明書等の配布
	令和 6 年 10 月 11 日	第 1 回入札説明書等に関する質問の締切 現地見学の参加意向申請締切
	令和 6 年 10 月 16 日 ～ 11 月 29 日	現地見学の実施
	令和 6 年 10 月 23 日	第 1 回入札説明書等に関する質問回答の公表
	令和 6 年 10 月 28 日	入札参加表明及び入札参加資格確認書類の受付締切
	令和 6 年 10 月 31 日	対面的対話への参加申込の締切
	令和 6 年 11 月 1 日	入札参加資格確認結果の通知
	令和 6 年 11 月 5 日	第 2 回入札説明書等に関する質問の締切
	令和 6 年 11 月 7 日	対面的対話の実施
	令和 6 年 11 月 20 日	第 1 回入札説明書等に関する質問回答の公表 対面的対話結果（議事録）の公表
	令和 6 年 12 月 4 日	入札書等及び提案書の受付締切
	令和 6 年 12 月 26 日	プレゼンテーションの実施 落札者の決定

事業者選定委員会(全4回)	事業者選定における客観性、透明性、公平性を確保するため事業者選定委員会を設置し、当該委員会において落札者の決定基準に係る検討や提案書の審査及び評価を行った。			
	【委員の構成】 (敬称略、50音順)			
	○	小柳 秀光	北海学園大学 工学部 教授	
		紺野 宏子	北海道教育大学札幌校 特任教授	
		鈴木 良	鈴木法律事務所 弁護士	
	都築 一雪	札幌市都市局 建築部長		
	○：委員長			
入札方式	総合評価一般競争入札			
審査結果	項目	配点	株式会社 ナカノヤ グループ	北海道電力 株式会社 グループ
	提案審査書類に係る得点（A）	500 点	292.25 点	236.25 点
	入札価格に係る得点（B）	500 点	478.57 点	500.00 点
	総合評価点（A + B）	1,000 点	770.82 点	736.25 点
落札者	株式会社ナカノヤグループ 網掛け...市内企業 【代表企業】(株)ナカノヤ 【構成企業】(株)恒栄工業、 エア・ウォーター・ライフソリューション(株) 、 田尻機械工業(株) 、 (株)フォルテック 、三立機電(株)、 (株)アップ総合企画 、(株)高木工業所、(株)東海テック、(株)桂設計 【協力企業】(株)ADW、 北海道機販(株) 、(株)加藤電機商会			
落札金額	13,549,732,265 円（消費税及び地方消費税を含む。）			

3 落札者の提案概要	
環境負荷への配慮	・高効率な電気方式(EHP)の採用による環境負荷低減 ・集中オンオフリモコンの設置による省エネ対策
早期設置完了の実践	・対象校177校について令和9年6月末までに整備を完了 - 第1期工事(令和7年6~12月):45校 - 第2期工事(令和8年3~6月):43校(累計88校) - 第3期工事(令和8年7~令和9年1月):46校(累計134校) - 第4期工事(令和9年3~6月):43校(累計177校) - 供用開始予定 - 第1、2期工事分:令和8年夏 - 第3、4期工事分:令和9年夏

学校施設冷房設備整備事業 事業概要

■ 全体計画について

普通教室等へのエアコン整備

約 300 校という事業規模を勘案し、R6 年度から 9 年度までの整備とする。

【R6 年度～7 年度】直営工事・・・111 校

整備対象校は、幼稚園、特別支援学校のほか、設備条件等から比較的早期に整備を進めることができる学校を選定。

【R7 年度～9 年度】PFI 手法による整備・・・177 校

可能な限り早期かつ確実に整備を完了するため、PFI 手法（BT 方式）を導入。

【R6 年度】事業契約締結（R7 年 2 月）

保健室へのエアコン整備

【R5 年度～6 年度（夏）】312 校

普通教室等への移動式エアコン設置

【R5 年度～6 年度（夏）】普通教室・特別支援学習室：3,882 室



緊急
対応

TOPIC !

事業者提案に基づき、供用開始
時期を 1 年前倒し

当初：R10 年夏

提案：R 9 年夏



■ 事業スケジュールについて

項目	実施期間	R5	R6	R7	R8	R9	R10
普通教室等へのエアコン整備							
建築部直営・住宅管理公社委託	R6～7		施工準備	工事（111校）	R7夏供用開始（15校） R8夏供用開始（96校）		
PFI手法による整備	R7～9		事業者選定	設計	工事（177校）	R8夏供用開始（88校） R9夏供用開始（89校）	
他工事による一括整備			新改築等工事による一括整備（18校） 随時しゅん工・供用開始				全校供用開始
緊急対応（保健室・移動式エアコン）	R5～6	緊急対応	緊急対応はR6夏までに完了				